

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりJR東日本グループの経営に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

2022年10月14日、日本の鉄道は150周年を迎えました。鉄道が日本の発展を支えてきたという歴史の重みを踏まえ、今後も経営のトッププライオリティである「安全」を前提に、皆さまからの信頼を高めながら、新たな価値を提供し、社会に貢献し続ける企業としてご期待に応えてまいります。

さて、第2四半期におきまして、当社グループ一体となって収益力の向上と構造改革によるコスト構造の柔軟化に取り組んだことで、増収増益となり黒字を確保することができました。引き続き気を緩めることなく、通期の黒字化をめざしてまいります。

当社グループは将来に向けて、国内・インバウンド需要の喚起や様々なエリアでのMaaSの展開など、輸送サービス、生活サービス、IT・Suicaサービスの3事業を融合した価値創造に取り組めます。また、品川開発プロジェクトをはじめとした多様な魅力あるまちづくり、不動産事業における回転型ビジネスモデルなどの攻めの戦略を加速し、グループ経営ビジョン「変革2027」で示した方針を、より高いレベル、より早いスピードで達成していきます。さらに、「ゼロカーボン・チャレンジ2050」や地方創生など、地域の皆さまとも協働した幅広い施策を展開し、SDGsの達成に寄与してまいります。

これらの方針をスピーディーに実現するため、組織の再編と仕事の仕組みの見直しを進めています。業務移管や権限移譲を

積極的に進め、お客さまや現地・現物に近い場所で価値を創造し、生産性向上による経営体質の強化と社員一人ひとりの働きがいの向上をはかってまいります。

当期の中間配当につきましては、一株につき50円といたしました。今後もしっかりと株主還元することで、皆さまのご負担に応えてまいります。何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年(令和4年)12月
代表取締役社長

深澤 祐二



JR東日本グループ財務ハイライト

連結業績ハイライト

(単位:億円)

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	前年同期比
営業収益	8,778	11,150	127.0%
営業利益	△ 1,158	667	—
経常利益	△ 1,362	395	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 1,452	271	—

(単位:億円)

	2021年度 期末	2022年度 第2四半期末	前期末からの 増減
総資産	90,914	90,990	+76
純資産	24,181	24,291	+109

セグメント別の状況

営業収益

(単位:億円)

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期
運輸事業	5,869	7,741
流通・サービス事業	1,289	1,521
不動産・ホテル事業	1,336	1,566
その他	283	321

営業利益

(単位:億円)

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期
運輸事業	△ 1,439	173
流通・サービス事業	17	117
不動産・ホテル事業	227	319
その他	30	43